

明石商 甲子園へ

春夏通じ3季連続



▽決勝

明石商

0000	0000	0004	14
0000	0001	0000	
神戸国際大付			

第101回全国高校野球選手権兵庫大会最終日は29日、神戸市須磨区のほっともっとフィールド神戸で決勝があり、明石商が4-1で神戸国際大付を破り、昨夏の西兵庫大会に続く2年連続2度目の優勝を飾った。甲子園出場は昨夏、今春に続き3季連続。

選抜大会で4強入りし、優勝候補として臨んだ今大会は5回戦まで危なげなく進撃した。準々決勝で姫路南相手に苦戦したが、終盤に4点差を逆転。準決勝で高砂を退け、1932〜36年の明石中(現明石)以来、史上2校目の5年連続決勝進出を果たした。決勝は九回に4点を挙げて逆転し、神戸国際大付を下した。

夏の甲子園大会は8月6日に開幕する。